



「生きる力」を育む授業

いま 教育改革に問われるもの

武田 忠 著

「教育改革」が、盛んである。「学校」「学校選択制曲がり角」(08・12・30)と塾の連携どこまで」(08・2・3)(以上、「朝日新聞」と)、「小中校進む統廃合」(08・11・14)とここでここで取り上げる一冊は、「教

つて、「授業」についての「理論」と「実践」の研究を続けている。授業の実践でとらえたことは、子どもたちの「問い合わせ」である。

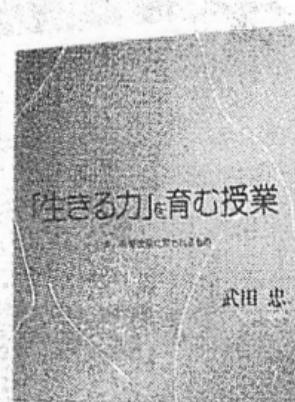
教育は、「授業」の「実践」によって「教育」となる。まさに「教育改革は授業改革からはじまる」ことを実証した、明るくて力強い一冊である。

「授業改革」を明るく力強く

内面からの
問い

生きるところまで追究し、思考を深めていく。その「問い」を、4つのステップで発展させる。この授業を受けた小学校6年男子は、教科書通りで終わりになると、

(鈴木 喜代春・児童文学者)



「教育改革」は、
授業からはじまる。

育改革は授業改革から始まる」といえ
る、「『生きる力』を育む授業」である。
著者は、大学で教育学を講義しながら、
青森県の小学校へ6ヶ月間の内地留学な
どした。そして小・中・高校で授業を行
なげて、さらに次の話題に進み、とても
分かりやすい授業だ」と書く。学習指導
要領の足らないところを指摘し、「生き
る力」を育てる授業を分析構成し、授業
の理論と実践を統一した一冊である。

問いが生まれて来る時、自ら考え、納得で
育改革は授業改革から始まる」といえ
る、「『生きる力』を育む授業」である。
著者は、大学で教育学を講義しながら、
青森県の小学校へ6ヶ月間の内地留学な
どした。そして小・中・高校で授業を行
なげて、さらに次の話題に進み、とても
分かりやすい授業だ」と書く。学習指導
要領の足らないところを指摘し、「生き
る力」を育てる授業を分析構成し、授業
の理論と実践を統一した一冊である。

生きるところまで追究し、思考を深めていく。その「問い」を、4つのステップで
発展させる。この授業を受けた小学校6年男子は、教科書通りで終わりになると、

新曜社

03・3264・4973

2625円